

とこい洋治
県政報告

笑顔大好き

EGAO

DAISUKI

2005.1.23
VOL.20
とこい洋治後援会
〒319-0205 西茨城郡岩間町押辺1745
TEL0299(45)6818
FAX0299(45)0818

▲ 常井議員の一般質問には、地元西茨城郡内から、300人を超える皆さんにお越しいただきました。橋本知事らに対し、地域の課題解決へ向けての、スピーディな施策実現を求める同議員の質問に、熱心に聴き入っていました。(16年12月6日)

一般質問で大きな成果、着々と前進。

- 県立中央病院で、18年からPET(ペット)の運用開始へ
- 未就学児までの医療費無料化拡大、17年度予算で検討へ
- 友部SAのETC専用IC、恒久設置を国へ要望

燃える郷土愛。全力投球!!

輝かしい新年を迎え、皆様ご一家のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

私は、この度、2期目で初めての一般質問を行いました。通算5回目ですが、約2年半振りの質問でしたので、初心に帰って皆様の声を県政に反映すべく努めました。

今回は、私のライフワークとする「医療・福祉の充実」を重点に訴えました。お陰様で、長年の懸案であった、がん対策の最新機器であるCT付きPET(現在、全国で約20台が稼働中)が、県立中央病院に18年から導入されることが明らかになりました。また、少子化対策のうえからも大切な乳幼児の医療費無料化制度の対象が、従来の「2歳児まで」から「未就学児まで」に拡大する方向で、17年度予算編成の中で検討されることになりました。これらの画期的な成果も、皆様方のご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

私、常井洋治は、皆様の御用聞きに徹し、その声を県政に反映してまいります。

今後とも、引き続き絶大なるご支援をお願いいたします。

茨城県議会議員

常井洋治



一緒に創ろう！ ふるさと西茨城郡の新時代

平成16年第4回定例県議会 を終えて

友部町
岩間町
岩瀬町

平成16年第4回茨城県議会定例会は、12月1日から16日までの16日間の日程で開かれ、条例など30議案を可決しました。常井洋治議員は、一般質問に続き環境商工委員会の質疑を通じて、熱心に審議を行いました。なお、今回は、補正予算の議案はありませんでした。

一般質問要旨

常井議員は、今回の一般質問で ①時代の潮流を切り拓く今後の県づくりについて ②西茨城郡の地域振興策について ③安心して子供を産み育てられる医療費助成制度の拡大について ④県立中央病院の機能の充実強化について ⑤地域再生の観点からの農業政策について ⑥西茨城郡を中心とする県央部の交通体系の整備について の6項目を質問しました。その中から一部を要約してお知らせします。

1. 畜産試験場跡地の利活用策のビジョンを打ち出すべきだ。

常井議員 友部町にある約40haに及ぶ広大な跡地は、この地域の振興を考える上で重要な財産であるため、早急に利活用策を示すよう再三訴えてきたが、県は未だ方向性すら打ち出せない。友部町を核とする地域を福祉・医療の拠点地区として位置づける明確なビジョンを打ち出し、施策を進めるべきと考える。また、地元住民や県民の意見を良く聴くべきだ。

橋本知事 跡地のある友部町においては笠間市、岩間町との合併に向けた調整を進めているが、この跡地は合併後のまちづくりに大きな影響を与える可能性があることから、新市に向けたまちづくりの協議の中で、福祉・医療関連を含め、幅広くその利活用について検討されるものと考えている。この跡地については、合併の成否の如何によってその活用方法が大きく変わってくる可能性が強く、県としては、引き続き地元の意向を確かめながら、利活用の方法を検討していきたい。

2. 総合流通センターの整備と販売見通しはどうか。

常井議員 常磐道友部SA近くに計画する同センターの約109haに及ぶこの土地には、未だ1社も進出がなく見通しさえ立っていない。金利だけで年間2億6,000万円も払っている状況だ。県は、物流業界の構造変化の動きを的確に捉えながら、企業の進出促進へ向けた販売戦略を立て実践すべきと考えるが。

橋本知事 立地可能施設の範囲を拡大することを目的に、現在都市計画の変更手続きを進めている。この変更によって、流通加工工場や自動車関連施設、小売店等の利便施設など、幅広い業種の立地が可能となっ

てくる。また、販売戦略については、業績が好調な企業約800社に対し立地需要調査を実施し、その結果を踏まえ、立地意欲のある企業を積極的に訪問し、本県の優位性をアピールして具体的な立地に結び付けたい。

3. 友部サービスエリアのETC専用IC(インターチェンジ)の恒久設置を求めていくべきだ。

常井議員 総合流通センターへの企業立地に弾みをつけるためにも、友部SAのETC専用IC社会実験(17年夏頃から約3ヶ月間予定)を踏まえた恒久設置が必要と考えるが。

橋本知事 友部町をはじめ近隣住民の利便性の向上に加え、出入り口近辺の総合流通センターの利用促進という点でも重要であることから、恒久設置に向け、国等に働きかけていく。

4. 安心して子供を産み育てられるように、医療費助成制度の拡大をすべきだ。

常井議員 私は、県職員として初めて勤務した医療福祉課で、母子家庭の医療費無料化の実現に向け奔走していた時、ハンディキャップを持った人たちが、必要となときに必要なだけの医療を気兼ねなく受けられる公共の仕組みの重要性を実感し、福祉の真髄を学んだ。その後、乳幼児に対し外来自己負担制度が導入されたが、福祉の切り捨てにつながるのではないかと懸念を強く抱き、この出来事が政治を志す原点となった。安心して子供を産み育てるためには、安心して病院にかかる医療費の助成が重要であり、乳幼児医療費助成措置の対象を未就学児まで拡大すべきと考えるが。

橋本知事 全国の状況を見ると、乳幼児の対象年齢を拡大する傾向にあり、本県においても未就学児まで

拡大してほしいとする各方面からの要望や議員からの提案もあるので、来年度予算編成で検討していくが、対象を拡大した場合には約12億円の財源が新たに必要となる。三位一体の改革に伴う地方交付税の大幅削減が検討されるなど、大変厳しい財政状況になっており、医療福祉制度全般の見直しを行う中で、財政状況を勘案しながら検討していきたい。

5. 県立中央病院へのPETの整備 見通しはどうか。

常井議員 1日に県民の20人近くががんで死亡しているという現実に、私は常々心を痛めてきた。県立中央病院ががん診療のリーダー役になるためには、まず診断技術の高度化が必要であると考え、極早期のがんを発見でき、治療後の転移や再発の診断において高く評価されているPET（陽電子放射断層撮影）装置の早期整備をこれまで何度も求めてきた。その結果、ようやく本県初のCT付きPETの導入に向けて準備が進められているが、その整備見通しと検診料金の見込み、他の地域がんセンターへの整備見通しは。

鈴木保健福祉部長 県立中央病院に本年度から2カ年事業で、PETを活用したがんの高度診療体制の整備を進めている。本年度は検査室の実施設計を行っており、来年度は検査室の建設工事とCT付きPET装置の整備を行う。県としては2006年のなるべく早い時期にCT付きPET装置の運用開始ができるようにしたい。

検診料金については、受診者の見込み数や収支を勘案しながら、今後設定していきたい。

他の地域がんセンターにおけるPETの整備については、県総合がん対策推進計画第2次計画において各地域がんセンターへの整備が位置づけられ、基本構想策定委員会においても装置はCT付きPETが望ましいとの意見が多数であることから、県としても早期にCT付きPET装置の整備を働きかけていきたい。



◀新潟県中越地震への義援金を入れる真剣なまなざし。パパの手を借りて、あたたかい善意の心がやっとなぎまきました。いわま商工まつりの会場にて。
(16年11月)

6. 耕作放棄地対策をどう考えていくのか。

常井議員 県内の耕作放棄地は増加の一途をたどり、笠間市の面積とほぼ同じになっており、将来的には農村社会の崩壊につながるのではないかと危機感を抱いている。集落営農を本県農業の担い手の中心に位置づけ、その法人化や組織化に県が積極的に関与し、担い手へ

の利用集積を促進するなど、耕作放棄地の発生防止とその有効活用策を講じるべきと考えるが。

神山農林水産部長 耕作放棄地を農地として有効に活用するためのガイドラインを作成し、市町村が行う耕作放棄地の実態調査や地域の実情に即した創意ある取り組みを促進していきたい。特に認定農業者等の確保が困難な地域では、集落を単位とし、共同で農業生産を行う集落営農やJAなどの出資により設立された農業生産法人の育成を進め、これらの担い手についても農地の集積を推進していく。

7. 百里飛行場への岩間ICからの アクセス道路は、「開港前に全線 新設」で整備すべきだ。

常井議員 平成12年第3回定例会で、当時の土木部長から、岩間ICから国道6号を横断し涸沼南広域農道を経て飛行場へ至るルートのうち、岩間ICから広域農道までの6.7kmの区間は、道路を新設し、開港前を目途に鋭意事業を進める旨の答弁があり、地域住民は大きな期待を抱いてきた。しかし現時点では、一部現道を利用したクランク型道路として優先整備することになっているが、今後、開港に間に合わせるためどう進めていくのか。

坂入土木部長 この区間全体の整備については、延長が長く、近年の道路予算の縮減傾向といった制約から段階的に整備を進めることとしている。当面は現在の優先区間の完成を目標に整備を推進し、併せて美野里町道420号線、並びに県道の上吉影岩間線や石岡常北線といった既存の道路を利用し、交通を誘導する方策もやむを得ないものと考えている。しかしながら、空港の利用増進の観点から、開港を目途に最大限の努力をしていく。

8. 北関東自動車道岩瀬ICまでの 整備見通しと全線供用開始時期 及び筑西幹線道路の進捗状況と 今後の見通しはどうか。

常井議員 北関東道の全線開通により、岩瀬町は北関東へ向けた本県の玄関口になるとともに、古河・総和方面へ向かう筑西幹線道路の完成によって交通の要衝となることから、地域振興の上で町民は大きな期待を寄せている。進捗状況と今後の見通しはどうか。

坂入土木部長 工事の発注状況等から、東北自動車道までは平成20年度頃供用し、全線供用開始時期は、それより若干遅れるのではないかと考えている。北関東地域の発展を担う重要な路線であるので、早期に全線供用が図られるよう国や日本道路公団に強く働きかけていく。

(筑西幹線道路についての答弁要約は、省略します。)

環境商工委員会 (H.16.12.8)

- 1 救命救急体制が崩れているのではないかと
- 2 岩間工業団地への工業用水の供給を要請
- 3 総合流通センター予定地に花のタネをまこう

常井委員は、上記のことを質問しました。要約は次のとおりです。

1 救急車は約6分で、現場に到着するが、その後病院へ向けて出発するまでに時間がかかりすぎるのではないかと。現代のIT技術を駆使して、受け入れ病院をすぐに探せないのか。県民の命を守る救命救急体制を再チェックすべきだ。



▲常井委員が委員会での提案を説明し、全委員が救命講習を受けた。

答弁：救急車の出動要請から病院までの平均時間は31分となっているが、これは、現場での応急措置（止血、心臓マッサージなど）が重要視されているためである。

※ 私は、救急車が現場に到着してから、受け入れ病院を探すための無線でのやり取りに時間がかかりすぎると感じたことが何度かあります。その間の家族の不安ともどかしさは、言うまでもありません。IT技術をうまく活用して、もう一度、救命救急体制を真剣に再構築していくべきだと思っています。(常井洋治記)

2 岩間工業団地では、既存の企業が増設により、大量の水の使用が見込まれるので、その供給に県の対応を要請した。

答弁：矢口商工労働部長は、町へも出向いて、調整に努めると約束した。

3 総合流通センター予定地の草刈りをした後に、花のタネをまいて、分譲地を「売り物」としてきれいに見せる方法を工夫すべきだ。

答弁：売り手として草ぼうぼうにしておくのではなく、提案の件について検討したい。



▲岩間町の六所神社のお祭りは、毎年華やかに繰り広げられている。小さい子供のうちから、伝統文化に親しんでいる。年番の中町の皆さんと。(16年11月)



▲環境商工委員会で、神栖町の飲料井戸のヒ素汚染現場を調査した。土壌掘削検査について、環境省の職員から説明を受けた。(16年10月)



▲愛知万博開催を記念して31府県議会議員野球大会が開催された。全員自費で出場し、他県との交流を深めた。常井議員は8打数3安打4打点と活躍し、チームの準優勝に貢献。(16年8月)



▲ふるさと友部まつりで、商工会の皆さんは、町民への感謝を込めて、いろいろな出店を出してサービスに努めていた。(16年10月)



▲台風23号による風雨で冠水し、通行止めになった県道石岡常北線の酒沼川付近。常井議員も現地を調査した。岩間町下安居区の久保田運平区長さんからの要望を水戸土木事務所に伝え、早速かさ上げ改良をすることになった。(16年10月)



▲第35回岩間町民駅伝大会で、選手や役員を激励した。12チームが、9区間でたすきをつなぐ伝統のある行事である。(16年11月)



▲岩瀬そば会の皆さんは、岩瀬町民祭りに毎年出店している。たくさんのそば打ち名人たちが腕によりをかけて打った常陸秋そばは、とてもおいしいことで有名だ。(16年11月)



◀友部町の旭町ふれあい集会(旭平二区・斉藤三郎区長さん)での風景。綿あめをもらって嬉しそう。(16年11月)



▲友部駅橋上化・自由通路の着工を祝う会で、町内の南北格差の是正と「福祉の町友部」の玄関口の整備に大きな期待を述べた。(16年10月)



▲ライオンズクラブの会員として、いわま商工まつりの会場で他のライオン(会員)とともに献血を呼びかけた。(16年11月)



▲クリスマスイブの日に、友部町で、笠間警察署・防犯連絡員協議会・青少年相談員の皆さんによる年末警戒活動が行われた。常井議員も皆さんを激励したあと、街頭に出た。(16年12月)



▲中央聴覚障害者協会主催のクリスマスイベントに出席して、ちょっとした手話を取り入れて挨拶した。(16年12月)



▶クリーンアップ酒沼ネットワーク水質浄化活動の功労者として表彰を受けた友部町、岩間町の皆さんと。常井議員の右隣は、ヒュマイトンボの発見者である広瀬会長さん。(16年11月)